基本方針策定の背景及び趣旨

平成 15 年に制定された食品安全基本法*の基本理念を踏まえ、本市では、平成 17 年に「福岡市食品の安全性確保に関する基本方針～食の安心を求めて～」を策定し、食品の安全性確保に関する取組を推進してきました。

その後、食品への薬物混入や食品の偽装表示などの全国的な事件の発生を受け、平成 21 年に「食の安全安心の確保に関する基本方針」と改名するとともに、食への安心感の醸成に係る施策の方向性を明記する形で、第 1 次改定を行っています。

第 1 次改定以降、食品の広域流通化に伴う都道府県等を越える広域的な食中毒事案が頻発する状況があるほか、子ども食堂などの食の提供主体の多様化など近年食を取り巻く環境が変化しています。

さらに、食品衛生法*の大幅改正による、営業許可制度の見直しや営業届出制度の創設、令和 3 年 6 月からの HACCP*に沿った衛生管理の制度化、食品の自主回収報告制度の創設など、行政及び食品関連事業者*はこれらの制度改正に適切に対応していく必要があります。

このような状況を踏まえ、本市の食の安全・安心の確保に関する施策のさらなる推進を図るため、今回、第 2 次改定を行っております。本改定にあたり、「食品の安全性の確保」と「食の安全・安心に係る信頼関係の構築」の二つの柱を軸に施策を再編するとともに、「福岡市食の安全・安心の確保に関する基本方針」と改名し、「食品の安全性」と「食の安心」に係る施策に取り組んでいくことを明確にしています。